

墓石クリーニングの女 ～あきねえ便り～8月号

こんにちは！たけしょうの墓石クリーニングの女こと、浦野明子です！

社長が気仙沼に支援活動に行ってきました。自分の目で見たり被災者の生の声を聞いて、行かなければわからないことが沢山あると感じて帰ってきました。今回のあきねえ便りでは、和尚さんたちの支援活動を取り上げ、書かせていただきます。仕事のレポートではありませんが、たけしょうが大切にしている想いがある気がします。

「スジャータープロジェクト」
を供養し命を救ったという娘である。」

6月12日～14日まで、社長が気仙沼被災地支援に参加してきました。

それは、建長寺の和尚さんたちが「元気を届けたい。我々は、苦しみを分かち合って、出来る事を探して行動する力を持っています。具体的には今回震災に遭われた方々に温かい食べ物や飲み物を届けようと、思い立ち、行動に移します。小さな行為ですが心のケアになる事を祈っています。そこで、皆様にはご協力いただける範囲で参加していただけたらありがたいと思います。」という想いのもとで有志を集め、気仙沼の地福寺さんを拠点に様々な支援活動をされており、社長も参加させていただくことになったからです。

私たちは連日のニュースで被災地の状況はかなり把握しているつもりですが、しかし、現地に行き被災者の生の声を聞くと、悲しみに浸っていられない厳しい状況や、生きていくためにしなければいけない多くのことが山積で、現地に行かなければわからないことやできないことは、本当に多いそうです。私自身、何かをしてあげたい！私にできることは何だろう...とよく考えますが、やみ雲に支援物資を送っても必要としている人に届くのでしょうか...

実際は、数が世帯分無いと配給ができないとか、今は必要とされていない(冬服など)などの理由で、不要になってしまっているものもあるのです。



いのりの広場で...



2ヵ月後の本堂の写真

「プロダクト」

支援一回目は、現地の状況を知り、今出来る事を皆で考えて行動を起す事で、少しでも被災地の人が元気になれたらと願っただけでした。

支援二回目は、現地のニーズは刻一刻と変わるので、それにマッチした支援をと洗濯機を運びました。

支援三回目は建長寺派の和尚さんら20人で大規模な支援となりました。49日法要に備えて、瓦礫の片付けと、本堂の土足禁止化(泥や砂を出しキレイにする)が重要な任務です。無事法要も終わり、この後も繰り返し支援に訪れ、少しずつ片付けが進んでいます。(能満寺の和尚さんのブログより)



本堂の中から外を見ると、以前は建物が建ち見えなかった海が遠くに見えます。お寺の本堂は天井まで津波に浸かり、建物を破壊し、瓦礫や泥や海水で悲惨な状況です。

「海岸沿いの町営墓地」



墓地は、ここが墓地だったとわからないくらい根こそぎお墓が流されなくなっています。せめて竿石だけでもと、防波堤沿いにずーっと並べてあります。

「田んぼの風景に胸打たれて」
上の写真は、田んぼだったところの写真です。下の写真は、道を一本隔てた田んぼの写真です。普通の田んぼにジーン...



「これからの支援」

こんな状態でも、めげずに田植えをし、気仙沼は復興にむかっって進んでいるのです！
現在、被災地では生活雑貨の不足と、片付けの人手を必要としているようです。今後、受け止める側の気持ちを知ったうえで、継続的に寄り添つことを大切に、続けていきたいと考えているそうです。

TakeShoコミュニケーションズ株式会社

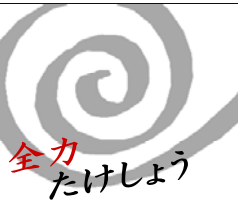
〒338-0824 さいたま市桜区上大久保 9-16
TEL 048-699-9731
FAX 048-699-9730

●たけしょうHP

・石材・木材ケアメンテナンス
・墓石リフレッシュ

ハウスリフレッシュで検索
墓石リフレッシュで検索

お見積無料です！お気軽にお問い合わせ下さい！



全力 たけしょう